

氏 名	江草 典政
学 位 の 種 類	博士（医学）
学 位 記 番 号	甲第368号
学位授与年月日	平成24年3月21日
審 査 委 員	主査 教授 大谷 浩
	副査 教授 大平 明弘
	副査 教授 田邊 一明

論文審査の結果の要旨

膝蓋骨脱臼を主たる契機として発症する膝蓋骨不安定症は患者の日常生活を著しく制限し、変形性膝関節症を招来する危険性が高いため早期の発見と治療が必要である。しかし、本症を客観的かつ定量的に診断する方法は確立されていない。申請者らは徒手の診断手技を数値化するための膝蓋骨試験機を開発し、本機器を用いた膝蓋骨安定性検査が本症の客観的かつ定量的な診断法となり得るか否かを実証する実験を行った。臨床的に膝蓋骨不安定症と診断された患者群と健常群に対して、本検査で測定される膝蓋骨の外側変位量と負荷量からコンプライアンス(mm/N)を算出し、本検査の感度と再現性、および患者の症状との関係を調査した。その結果、膝蓋骨の5 mm外側変位時のコンプライアンス値が0.81 mm/Nより高値であれば95%の感度と誤差4.7%という高い再現性で膝蓋骨不安定症を診断できるとともに、機能評価スコアと有意に相関することが明らかとなった。また、本検査条件は患者に有害事象を与えなかった。本研究は、膝蓋骨不安定症を客観的かつ定量的に診断する方法を新たに確立したものであり、本症の診断や治療評価に有用な知見を与えるもので臨床的意義が大きいと認められる。